

事業所名

チャイルドサポートみやこⅡ

支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

4月

1日

法人（事業所）理念	全社員及びその家族の物心両面の幸せを追求する。 謙虚にしておごらず人格を高め地域社会に貢献する。							
支援方針	ビザライに関わるすべての人の「笑顔」を増やす。							
営業時間	9時	30分	から	16時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	保護者や学校と連携し、健康状態の維持・改善を行い、生活リズムや生活習慣の形成を行う。個々の状態に応じた生活スキル獲得のために、環境の見直しと個別指導を行う。 清掃活動・洗濯・買い物学習を通して自立生活スキルの習得。食事やおやつのカッキングを通し食育指導を実施。						
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上。姿勢と運動、動作の補助。手段の活用。保有する感覚の総合的な活用を体得する。 リズム体操、サーキット、体操教室における運動療法。ビジョントレーニングを目的としたカードゲームや数字遊び、ボール遊びの提供。						
	認知・行動	認知の発達と行動の習得。空間、時間、数などの概念形成の習得。対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目指す。 SSTカードゲームを通して状況に対しての好ましい行動の理解。神経衰弱・数とり遊び・時計学習を通して数、時間の概念習得。ちぎり絵、切り絵、ペーパークラフトクラフトを通し、空間・立体などの概念を理解習得。						
	言語 コミュニケーション	言語の形成と活用、言語の受容及び表出を行う。コミュニケーションの基礎的な能力の向上を目指し、コミュニケーション手段の選択と活用を実践することができるよう支援する。 日直当番（始まりの会）・プレゼンテーションを通して、コミュニケーション力の向上。ことば遊び・絵カード遊びを通して単語力の習得向上、あいうえお作文など言葉遊びを通して文章力の習得向上を目指す。来所時の流れを活用して自発的に報告・相談できるように環境整備の実施						
	人間関係 社会性	他者との関わりを通して人間関係の形成を行う。自己の理解と行動の調整。仲間づくりと集団への参加する力を支えていく。 ルールのある遊び・調べ学習・活動プログラムづくりを通して他児の意見を聞き、相手に配慮する機会を持つことで他者の立場に立てるように支援。 職場体験、お仕事体験を通じて他者や社会とのかかわりを支援。						
家族支援	, 将来の進路に向けた保護者面談の実施。主に就労施設で使用される評価シート（BWAP）を使用しより将来に向けた支援の方向性を数値化、保護者と共通認識が図れ、今後の方向性の共有を行なう。保護者の意見（将来に向けた）を取り入れた勉強会の実施。			移行支援	児童館の行事に参加、交流している。また、こども食堂へ行き、調理手伝いを行う事で地域の児童や地域の方との関わりをもっている 就労施設に体験や見学を行うことで地域の就労施設との情報交換や交流をしている。			
地域支援・地域連携	事業所周辺の清掃活動を行うことで、環境美化の活動を盛り込み、危険がなく安全に過ごせるよう草木の除去やゴミ拾いなどを積極的に行っている。屋外活動を行う事で、地域の方と関りを持つ事が出来ている			職員の質の向上	事業所内での持ち回り勉強会の実施、外部研修への参加を通して知識を増やし、支援の質の向上を図っている。児童の支援に必要な他事業所との連携を密に行なう事で、包括的な支援を行えている			
主な行事等	毎月誕生日会、七夕集会、夏祭り、みやくるフェスティバル、ハロウィン、家族参加型イベント、クリスマス会、節分等							